

4月のアーティスト



みんな

茂瀬 日和 ちゃん
江釣子保育園 5歳



保育園でお友達とトミカで競争して遊んでいるところだよ。私もお友達もそれぞれ競争に勝ってとても楽しかったよ。

の広場

この人に聞く Spotlight

No.215

神職人生を歩み続ける91歳の現役神主

高橋 弘平 さん



古くから格式高い神社とされる霧島神社（鹿児島県）の名誉宮司、高橋弘平さん（鬼柳町・91歳）は、岩手県在住者としてはただ一人、最高位の身分である「特級」の神主です。長年、神職者として尽力した功績が評価され、令和3年に神社本庁から授与されました。「先輩たちには及ばないが率直な思い」と謙遜しつつ、感謝を口にします。高橋さんは大学で神主の資格を取得するため上京。卒業後、北海道から鹿児島県まで、全国各地の神社や神社庁へ赴任してきました。このうち同神宮には平成5年から奉仕、翌年に責任者である宮司となり、81歳までの20年間、部下

をまと運営に努めました。地元を離れながらも、40年ほど前から地域の白髭神社、八幡神社、見渡神社の宮司を兼務。3年前に北上に戻ったからは、自宅から近い白髭神社に毎日のように朝の参拝と境内の清掃をし、冬には参道の雪かきを行います。これまでで一番印象に残るのは、初めての赴任先だった寒川神社（神奈川県）の宮司に「境内の清掃が一番大事。参拝者もすがすがしい思いになる」と指導されたこと。「朝に神社の掃除をすると、心もきれいになって『今日も元気で過ごせる』と思えてくる」とほほ笑みます。鹿児島の奉仕がきっかけで焼酎が好きになり、今も蔵元から送られてくる霧島焼酎を晩酌で楽しめます。「神社の祭りの後、直会で地域の人と膝を交えて話すことが大切にしてきた。お酒が少し入るとお互いに心がほぐけて、気持ちの交流ができる。東北出身の私でも、20年の間に鹿児島の人に受け入れてもらえたかな」と懐かしみます。特級神主の証である白装束に身を包み、背筋を伸ばした姿からは、人望の厚さがにじみ出ています。

No.277

みんなの詩歌



冬の日に友と共に入る文具店
体も財布も寒くなりけり
大川 爽太郎

元日の「0時」に至るその時間に
この世で最初に地に着いたのだ
高橋 琉碧

ぬくぬくとこたつに入り幸福な
ひととき過ぎしみかんを食べる
那須 結衣

飯豊中学校二年

※掲載作品は日本現代詩歌文学館内に展示しています。

4月のクラス

南小学校 6年2組



どんなクラス？

誰にでも優しい（葵、聖来、凛）
思いやりにあふれる（志道）
忘れられない思い出をたくさん作る（快斗）
修学旅行をみんなで楽しめそう（蒼空）
6年生になったので1秒1秒を大切に（大都）

担任 服部先生からのメッセージ

いつも元気いっぱい個性が光る6年2組のみんな。南小学校のリーダーとして自分ができることにベストを尽くして頑張ろう!!

おらほの愛どる



宮崎 愛菜 ちゃん
平成29年6月12日生まれ
芽依 ちゃん 蒼生 くん
令和2年2月29日生まれ 令和4年4月6日生まれ
(藤沢)

いつも仲よし3人♡これからも楽しい時間を過ごしていこうね!



掲載申込みはこちら



太田 美桜 ちゃん 心杏 ちゃん
令和3年3月30日生まれ 令和5年9月21日生まれ
(九年橋)

大好きなおとみあ、生まれてきてくれてありがとう♡すくすく元気に大きくなってね♡